

議事要旨

会議名称	第3回 杉並区荻窪駅周辺まちづくり検討会
日時	平成28年7月8日（金）15：30～17：30
場所	杉並区役所 本庁舎 中棟4階理事者控室
出席者	【構成員】 まちづくり担当部長、土木担当部長、区民生活部副参事（荻窪地域担当）、産業振興センター次長、都市計画課長、調整担当課長、都市再生担当課長（都市整備部副参事（荻窪地区まちづくり担当）兼務）、土木管理課長、土木計画課長、交通対策課長 【外部アドバイザー】 大沢昌玄氏、高見澤邦郎氏、関口太一氏 【事務局】 都市整備部まちづくり推進課都市再生担当
配付資料	資料1：荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方（案） 資料2：駅周辺エリアの取組みの具体化に向けて整理すべき事項
会議次第	1. 荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について 2. 取組みの具体化に向けて整理すべき事項について

<議事概要>

(1) 荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について

事務局より、荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

○エリア別の取組の方向性について

- ・ 駅南側エリアに与謝野公園も示したほうがよい。
- ・ 駅南側エリアでどのような土地利用とするのか考えていく必要がある。
- ・ 「商業機能の充実」はメッセージとして示したほうがよい。
- ・ 青梅街道による南北分断も考慮する観点から、南北連絡動線の充実の対象範囲を、青梅街道の北側まで伸ばす必要がある。
- ・ 鉄道及び青梅街道を越えて、南北をつなぐという姿を示した方がよい。
- ・ 南北の回遊性を高める取組を示すため、対象区域全体のネットワーク図があった方がよい。
- ・ 鉄道からバスへの乗り換え客や、JRからメトロへの乗り換え客に、まちへ出てきてもらうことが重要だと思う。寄り道したくなる駅など、ビジョンを描けるとよい。
- ・ 駅周辺にはマンションの住民も増えているので、そうした人が家に帰る前に楽しむ場所があるとよい。
- ・ 南北を地下でつなぐ案もあるが、埋設物が課題。

(2) 取組みの具体化に向けて整理すべき事項について

事務局より、取組みの具体化に向けて整理すべき事項について説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 駅前広場については、複数ある面積算定式により算定した面積を目安とし、広場内のバス停留所に発着するバス車両の軌跡から必要な広さを決めるのが一般的である。
- ・ 近年は、交通結節点機能だけでなく、滞留スペースとしての駅前広場をどのように考えるかが重要である。
- ・ 今後策定する交通戦略には、ソフト施策を位置づけられるとよい。

以上